

## 守口市総合教育会議会議録

- 1 日 時 平成 28 年 2 月 15 日（月） 午前 11 時 30 分
- 2 場 所 守口市役所 1 号別館 3 階 第 2 委員会室
- 3 出席者 西端市長、渡邊教育委員長、首藤教育長、榎原教育委員長職務代理者、江端教育委員、橋爪教育委員

### 4 内 容

（西端市長）

それでは、第 3 回守口市総合教育会議を開催いたしたいと存じます。

教育委員の皆様方におかれましては、日頃より守口市の教育行政の発展にご尽力頂き、厚くお礼申し上げます。また本日は、公私何かとお忙しい中、ご参集賜りまして、誠にありがとうございます。

本日の総合教育会議は、今後の守口市の教育方針を定める守口市教育大綱の策定に向け、ご意見を皆様にご覧いただきたくと考えておりますので、よろしくお願いたします。

（西端市長）

それでは早速ではございますが、守口市教育大綱について事務局から説明を受けます。

（助川企画課長）

教育大綱についてでございますが、前回の総合教育会議でもご説明させていただきましたとおり、「めざす守口の教育」の基本方針に市長の考えを盛り込み、また、前回教育長からご意見のありましたものを踏まえたものとしております。それでは、お手元に配付しております「守口市教育大綱（案）」をご覧ください。まず、本大綱の位置付けといたしましては、国の「教育振興基本計画」を参酌するとともに、本市の第五次総合基本計画を最上位計画としており、その中の教育関連目標の達成に向けたものと位置付けております。

大綱の期間につきましては、市長の任期と合わせることにし、平成 31 年度末としております。

教育理念につきましては「めざす守口の教育」の理念であります、《郷土を誇りに思い、夢と志をもって、国際化社会で主体的に行動する人の育成》を掲げます。

基本方針につきましても「めざす守口の教育」を軸としており、変更点といたしましては、基本方針1「学力を伸ばす」の項目に、「さらには、家庭での学習習慣を確立するため、学校・家庭・地域の連携を図るとともに、民間のノウハウを取り入れた学力向上の取組みを推進します」を加えさせていただいております。

基本方針2から4につきましては「めざす守口の教育」の基本方針と同様としております。

基本方針5につきましては「魅力ある学校づくり」として、教育環境の整備についての項目を追加させていただいております。こちらの項目につきましても「学校規模適正化基本方針」に基づき、追加しております。

基本方針6につきましては「施設開放」についての項目を追加しました。

なお、「めざす守口の教育」に追加しました項目は以上でございますが、大綱の期間中に変更の必要が生じた場合には、総合教育会議の中でご意見を伺いながら、改訂することといたします。

今後のスケジュールといたしましてはこの会議が終了後にパブリックコメントを実施し、市民の皆様からご意見を伺いたいと考えております。

簡単ではございますが、大綱（案）についてのご説明は以上でございます。

(西端市長)

事務局からの説明が終わりました。皆様のご意見を伺いたいと存じます。

(江端委員)

守口市には私立の学校なども存在しますが、その取扱いはどうなりますか。

(西端市長)

私立にはそれぞれの教育理念・方針が存在しますので、そこにまで我々の大綱が入り込むというのは難しいと考えております。

(江端委員)

私立の幼稚園はたくさんございます。それぞれの学校法人が経営責任を果たしてやっております、失敗すれば潰れる。この辺はどう考えるべきなのかなど。実際には守口市の子ども達は私立の幼稚園にかなり通っており、責任を受け止めて保育させてもらっています。いつもその辺がすっきりしないなど。否定的に考えているものではなく、守口市長として守口の教育をこうしたいと大まかにおっしゃられることは何も悪くないことですので。

(西端市長)

私としましては幼児教育というものは必要であるということで平成 31 年には再編整備もさせていただきます。その中には幼稚園などを認定こども園にしていただいで進めていただく園もございますので、私立であれ、私としましては含めたいと思いますけどもね。

(首藤教育長)

事務局にお願いしておきたいのですが、本来すべきことやすべきでないことの棲み分けが必要であり、法律ではこの教育大綱がどこまでを対象とするのか再度調べて欲しいと思います。

(江端委員)

この大綱があつて「めざす守口の教育」が存在すると。大綱の基本方針と「めざす守口の教育」の基本方針と相違がありますが、そこはいかがでしょうか。

(西端市長)

「めざす守口の教育」を軸に大綱を作成していますが、その中でももちろん増えている部分もあります。

(小浜教育次長兼管理部長)

江端委員からのご質問ですが、「めざす守口の教育」はソフト部分の記載が中心であり、前回の総合教育会議の中で教育長から、施設面での方針も組込んでいただきたいとご意見を頂き、その項目が大綱で示されております。平成 27 年度は基本方針が 6 つございまして、項目が 1 つ追加されているということです。

(江端委員)

項目の 1～4 については同じですが、項目 7 については「めざす守口の教育」のは入っていないようですが。

(小浜教育次長兼管理部長)

平成 28 年度に機構改革があり、生涯学習関係は市長部局へ移管される予定となっております。来年度の「めざす守口の教育」では、その部分につきましては、関係部局との連携と追記させていただいております。

その関係で平成 27 年度と平成 28 年度では枠組みに若干の変更がございます。

(江端委員)

魅力ある学校づくりというのは教育部局だと思いますが。

(小浜教育次長兼管理部長)

おっしゃるとおり、「めざす守口の教育」の中にハード部分を組込むことも1つの考え方ではありますが、これまでもソフト部分を主としておりますので、そこは変更しておりません。

(江端委員)

教育環境というのは施設面、ハード面ということですか。

(小浜教育次長兼管理部長)

はい。前回の総合教育会議の中で教育長が大綱を策定する際には、ハード部分も含めて策定していただきたいとのご意見がありましてので、それを踏まえて事務局にて作成しております。

(首藤教育長)

市長が策定される大綱と、教育委員会が出すものと、全く同じである必要はないと思います。

それを調整するのがこの会議であると考えますから、市長のご意見や教育委員会の意見を出し合ってやっていくと。

(西端市長)

基本的には「めざす守口の教育」を軸として策定しまして、今後4月からは市長部局に移管される部分もございますので、我々としても率先して行うという点で平成28年度の「めざす守口の教育」に追加ということになります。

我々としては、幼児教育から中学校教育まで、守口市独自でできる教育を行っていききたいと。その中でご議論いただけたらと思います。

(首藤教育長)

これは(案)として、次の機会に決定すると。

(江端教育委員)

もう一点質問があります。

基本方針1の説明部分で「民間のノウハウを取り入れた」とあり、今回付け加えられていますが、具体的にはどういったイメージをお持ちですか。

(助川企画課長)

市長の選挙公約でもありますが、学力向上の視点から、例えば民間の学習塾と連携をいたしまして土曜日に塾を開くなどの事例がございます。そのように民間の力を活用して学力を伸ばすということも出てきておりますので、そういう部分で今回、学力を伸ばす中で民間のノウハウも取り入れていく必要があるのではないかとということで付け加えさせていただいております。

(西端市長)

私が市議会議員の時に下島小学校で英語塾に来ていただいて放課後の時間帯に教えていただくというのを拝見したことがありました。子どもたちは非常に興味を持っておりました。民間には様々なノウハウがありますので、活用することで学力向上の一つとなるのではないかと、一年間程度の取り組みだったと認識していますが、そういった取り組みを行って学習により魅力や興味を持っていただけるのではないかと考え、選挙の折には民間のノウハウを活用したいということでお示しさせていただきましたので、これも取り入れたいと考えております。

(江端教育委員)

産業界などからも良い話がしてもらえるかもしれませんので塾に限らず、面白いと思います。

(西端市長)

他にご意見ございますか。

(江端教育委員)

それではもう一つ。基本方針の4ですが「めざす守口の教育」にもありますが、「学校力を高める」という中に、明確なビジョンを共有した学校経営、これ大事なことなのですがそれぞれの学校毎の打ち立てるビジョンのことをおっしゃっているのか、それとも守口市としてのビジョンなのか、どちらでしょうか。

(西端市長)

これにつきましては、各学校の特色はそれぞれあります。各学校の特色を打ち出していきたいと。クラブ活動でも、例えば樟風中学校が吹奏楽が盛んである、守口市内の全中学生を対象に吹奏楽をしたいと希望があれば、樟風中学校に集まってできるようにすると。

(江端教育委員)

別の中学校に通っていても樟風中学校に行ってクラブ活動を行ってもよいと。

(西端市長)

そうです。そういうことも今後は取り入れていかなければならないと思います。これは各学校や学校長の判断もありますので。

(江端教育委員)

そういったことも大事なことです。どう捕まえるかです。いぶん違いますしね、ビジョンというのは。

(西端市長)

この教育大綱は首長が策定するとなっておりますので、色々ご意見あろうかと思いますが、一度持ち帰って検討していただいて、ご連絡いただけたらと思います。

他にこの場で何かご意見いただきましたら、我々も検討させていただきますが、いかがですか。

(渡邊教育委員長)

一つだけ気になったのが、民間のノウハウを取り入れてやるのはいいと思いますが、ただそれがメインとなるのはいけないと、その辺の姿勢をきちんと表現しとかなないといけないかなと思います。

守口市民で私学や国立に通っている子ども、その辺をどうするのも大事な視点であると思います。私学や国立の学校に権限が及ばない部分もありますが、そこも視野に入れた議論もしておく必要があると思いますのでそのうえで検討いたします。

(榎原教育委員長職務代理者)

基本方針4の「魅力ある学校づくり」ということで、先日樟風中学校に行く機会があり、新しい学校ですので、廊下を歩けば自動で電気が付くというような最新の設備が整った良い学校で勉強できている子どもたちもいれば、古い校舎、教室やトイレなどあまり綺麗でない環境で授業を受けている子どももいるので、ただそれはそれで伝統のある学校でそれぞれの魅力があると思いますので、学校に合った環境を深めていただいて、今はどこも冷暖房完備になっていますし、環境的にはすごく向上していると思いますが、古い学校は古い学校なりに少しずつ考えていただけたらありがたいと思います。

(橋爪教育委員)

直接関係はないですが、新たに取り組むを行うとなると人、教員の方の指導というのも大事になってくると思います。

(西端市長)

それでは一度持ち帰っていただいて、検討いただきまして次回策定させていただきたいと存じます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。